

報道関係各位
プレスリリース

2022年1月13日
NPO法人となりのかいご
代表理事 川内 潤

【2/18(金)開催】NPO法人となりのかいご代表 川内とおれんじドア代表／認知症当事者の丹野智文氏による認知症の家族介護に関する対談が実現

～認知症の当事者から見える世界や認知症の方と接する際のポイントを探る～

ビジネスパーソンの介護コンサルティングを通じ、家族による高齢者虐待の予防に取り組むNPO法人となりのかいご(神奈川県伊勢原市、代表:川内 潤)は、「認知症となった大切な方に家族ができること」をテーマに、認知症当事者でおれんじドア代表の丹野智文氏との対談イベントを開催します。

オンライン開催

認知症となった大切な人に
家族ができること

NPO 法人となりのかいご代表理事
川内 潤

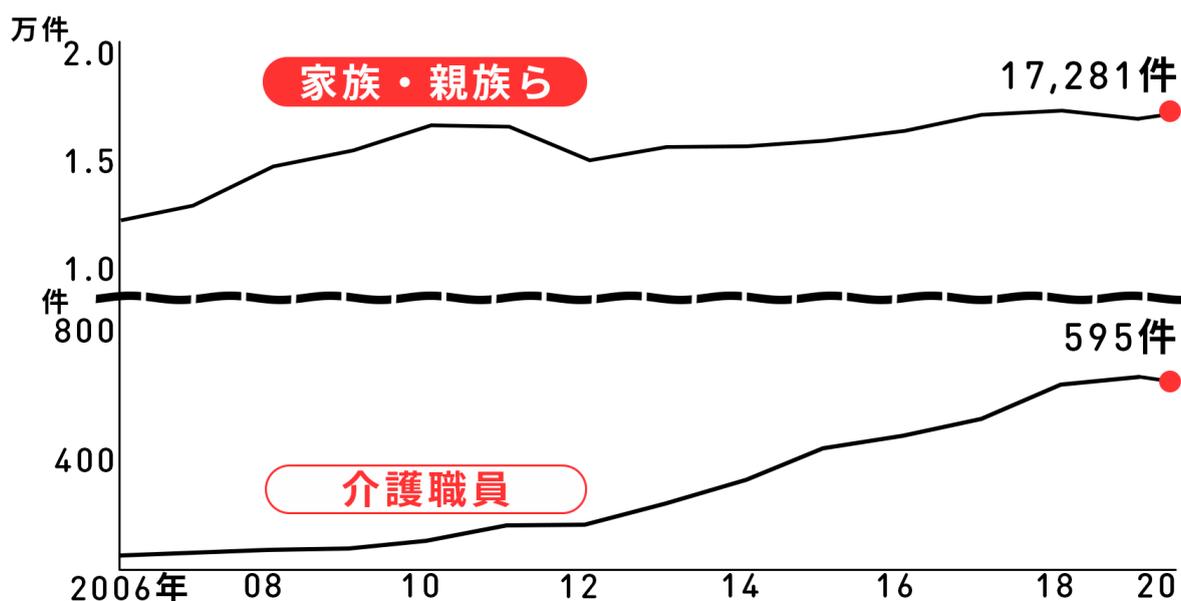
認知症当事者／おれんじドア代表
丹野 智文

2/18 (金) 19:00～20:00

■開催背景

家族・親族による高齢者の虐待件数は令和2年度の調査で17,281件となり、年々増加傾向となっています。虐待発生要因の**52.9%(9,141件)**は被虐待者の「認知症の症状」であり、今後は更に、コロナ禍による介護サービスの利用減少や職住近接の社会現象と相まって発生する「家族介護」の増加により更に家族・親族らによる高齢者の虐待件数は増加すると見込んでいます。

<介護職員、家族・親族ら的高齢者虐待件数の推移>



令和2年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果／厚生労働省資料より作成

そこで、介護が必要となる理由の約20%である認知症(厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成28年)の方に家族ができることをテーマに認知症の当事者であり、おれんじドア代表の丹野智文氏と対談イベントを開催することとなりました。認知症当事者の視点で家族介護を捉え直す機会を参加者の皆様に提供し、行動変容の機会や新たな気づきのある機会にさせていただくことで高齢者虐待の問題に取り組んでまいります。

■イベント開催概要

イベント名:「認知症となった大切な人に、家族ができること」となりのかいご代表理事川内潤・おれんじドア 丹野智文・対談イベント

日時 : 2/18(金) 19:00~20:00

参加方法 : オンライン(zoom)

主催 : NPO法人となりのかいご

イベントページ: <https://2021tonarinokaigo-tannno.peatix.com/>

【おれんじドア代表 丹野智文 氏】

宮城県在住。2013年、自動車販売会社のトップセールスマンとして活躍していた39歳のときに若年性アルツハイマー型認知症と診断される。現在は、同社にて総務・人事として働くかたわら、若年性認知症当事者として、認知症の当事者が元気になる仕組み作りや企画を行なうなどの活動を展開。妻と子ども2人の4人家族。著書「認知症の私から見える社会 (講談社+α新書)」、「丹野智文 笑顔で生きる ―認知症とともに― (文春e-book)」

【NPO法人となりのかいご代表理事 川内潤】

1980年生まれ。上智大学文学部社会福祉学科卒業。老人ホーム紹介事業、外資系コンサル会社、在宅・施設介護職員を経て、2008年に市民団体「となりのかいご」設立。2014年に「となりのかいご」をNPO法人化、代表理事に就任。2020年3月4日にNHK「あさイチ」出演。著書『もし明日、親が倒れても仕事を辞めずにすむ方法(ポプラ社)』

【法人概要】

法人名 : NPO法人となりのかいご

代表理事 : 川内潤

設立 : 2008年

事業内容 : 介護支援コンサルティング事業、普及啓発事業

弊社サイト : <https://www.tonarino-kaigo.org/>

Facebook : <https://www.facebook.com/kaigoforbussinessperson/>

介護離職白書 : <https://www.tonarino-kaigo.org/download/>

